



2020年2月4日
日本銀行高松支店
瀬戸内国際芸術祭実行委員会

「瀬戸内国際芸術祭 2019」開催に伴う経済波及効果

- 平成23年香川県産業連関表等を用いて推計した、「瀬戸内国際芸術祭 2019」開催に伴う香川県内における経済波及効果は、以下のとおり。

①波及効果

経済波及効果	直接効果	1次波及効果	2次波及効果
180億円 うち春会期 52億円 夏会期 50億円 秋会期 77億円	112億円 うち春会期 33億円 夏会期 31億円 秋会期 48億円	37億円 うち春会期 11億円 夏会期 10億円 秋会期 16億円	31億円 うち春会期 9億円 夏会期 9億円 秋会期 13億円

直接効果： 芸術祭の来場者による県内消費金額等から、財・サービスの調達を県外に頼らざるを得ないなど、県外に消費が流れる部分を控除したもの

1次波及効果： 直接効果によって県内各産業の生産額が増加した額

2次波及効果： 直接効果及び1次波及効果によって生じた雇用者所得の増加分が、新たな消費に向けられることにより、県内各産業の生産額が増加した額

前提条件： 瀬戸内国際芸術祭実行委員会が期間中に実施したアンケート結果や各会場へ向かう航路の乗船人数等を踏まえ、試算上の人員を31.5万人として推計

②消費金額等

	県外・宿泊	県外・日帰り	県内・宿泊	県内・日帰り
構成比	52.6%	18.8%	1.0%	27.6%
1人あたり消費金額	67,034円	13,913円	29,281円	13,041円

※外国人来場者（県外に区分）の消費金額は88,546円/人

○ 香川県内における経済波及効果は、①来場者数（118万人）が前回より14万人増加したことや、②消費金額が大きい「宿泊を伴う県外からの来場者」の割合が上昇したことなどから、前回は+41億円の増加（前回は+30%）の180億円となった。

—— 外国人来場者の大半は、上述の「宿泊を伴う県外からの来場者」に含まれている。アンケート結果をみると、国内来場者より消費金額が大きい「外国人来場者」の割合が、前回は上昇（13%→23%）したことが、経済波及効果の増加に大きく寄与したとみられる。

以 上

▼本稿に関する照会先

日本銀行高松支店 総務課 (087-825-1102)
瀬戸内国際芸術祭実行委員会 (087-813-0851)

▼本稿の内容について、商用目的で転載・複製を行う場合は、予め日本銀行高松支店、瀬戸内国際芸術祭実行委員会までご相談ください。また、転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。